

[平成22年度設置]

計画の区分:大学院の設置

注1

札幌市立大学大学院

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

公立大学法人 札幌市立大学 平成22年5月1日現在

- (注) 1 「計画の区分」は認可時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。
 - 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院 ・・・」と記入してください。 認可時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載いただき、その下欄に ()書きにて、現在の名称を記載してください。
 - 例) 〇〇大学 △△学部

(口口学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合:「〇〇大学 〇〇学部」
- ・学部の学科の設置の場合:「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合:「〇〇短期大学 〇〇学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合:「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合:「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

「意見伺い」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	
<	デザイン研究科デザイン専攻(修士課程)〉	
	(1)授業科目表	6
	(2)授業科目数	7
	(3)未開講科目	8
	(4)廃止科目	8
	(5)授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	8
	(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	_
(:	看護学研究科看護学専攻(修士課程)〉	
	(1)授業科目表	- 9
	(2)授業科目数	10
	(3) 未開講科目	
	(4)廃止科目	
	(5)授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」	11
	(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合	
3	施設・設備の整備状況,経費	
	芸術の森キャンパス	- 12
	桑園キャンパス	
4	既設大学等の状況	
5	教員組織の状況 【掲載しておりません】	
6	留意事項に対する対応状況等	15
7	その他全般的事項	
(-	デザイン研究科デザイン専攻,看護学研究科看護学専攻共通〉	
	(1) 設置計画変更事項等	18
	(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)	
	(3) 自己点検・評価等に関する事項	
		21
添	付資料	
	(1) 資料1 「公立大学法人札幌市立大学FD委員会規程」	
	(2) 資料2 「平成21年度 FD委員会活動実績」	
	(3)別紙「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」	

- 調査対象大学等の概要等 1
- (1) 設置者

公立大学法人 札幌市立大学

(2) 大学名

札幌市立大学大学院

(3) 大学の位置

デザイン研究科及び大学本部 〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

【芸術の森キャンパス】

看護学研究科

〒060-0011

北海道札幌市中央区北11条西13丁目 【桑園キャンパス】

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載して ください。

(4) 管理運営組織

職名	認 可 時	変 更 状 況	備考
理事長	(ハラダ アキラ) 原 田 昭 (平成18年4月)		再任(平成22年4月1日)
学 長	(ハラダ アキラ) 原 田 昭 (平成18年4月)		再任(平成22年4月1日)
THE SECTION IN	〈デザイン研究科〉 (シロマ ヨシユキ) 城 間 祥 之 (平成22年4月)		
研究科長	〈看護学研究科〉 (ナカムラ ケイコ) 中 村 惠 子 (平成22年4月)		
専攻長	なし		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を
 - () 書きで記入してください。
 - (例) 平成19年度に報告済の内容 → (19) 平成22年度に報告する内容 → (22)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正する とともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等,定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は,平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが,開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し,4年以上の場合には,欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称,定員

調查対象研究科等	設	置時の計	備	考	
の名称(学位)	修業年限	入学定員	収容定員	TVHH	75
デザイン研究科 デザイン専攻 (修士課程) 修士 (デザイン学)	2	18	3 6	基礎となる学部等 デザイン学部デザ	

- (注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

× ×	報告年度	平成22年度	平成 2	3 年度	平均入学定員 超 過 率	備考
А	入学定員	人 (若干名) 18	() \	倍	
	志願者数	(7) 33	()		
	受験者数	(7) 31	()	1. 00	
	合格者数	(4) 20	()	1	
В	入学者数	(3) 18	()		
7	学定員超過率 B/A	(–) 1. 00	()		

- (注)・()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。<u>入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様</u>の方法としてください。
 - ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・「平成20~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成22年度	平成23年度	備	考	
1 年次	[-] 18	[]			
2 年次		[]			
ä†	[-] 18	[]			

- (注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設 において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

対象年度	退学者数(a)		入学者数(b)	入学者に対 退学者数の (a/b)	する 割合
	ä†	[0]	(累積)計	[0] 18	[0%) 0%
	うち平成22年度入学者	0人	うち平成22年度	18人		09
平成22年度	(主な退学理由)					
	ä†	[]	(累積)計	[]		94
	うち平成22年度入学者	人	うち平成22年度	人	L	%
	うち平成23年度入学者	人	うち平成23年度	人		
平成23年度	(主な退学理由)				, ,	

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については,「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により,我が国の大学(大学院を含む。),短期大学,高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において 教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの 入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第 1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学
- •海外留学

- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情
 - 家庭の事情・
- その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成19~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

(注)・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等,定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等	設	置時の計	備	考	
の名称(学位)	修業年限	入学定員	収容定員	1/14)	75
看護学研究科 看護学専攻(修士課程) 修士(看護学)	2	18	3 6	基礎となる学部等 看護学部看護学科	

- (注) ・「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

×	報告年度 分	平成22年度	平成 2	3 年度	平均入学定员 超 過 率	i	備	考	
А	入学定員	人 (18*) 18	() \	1	*) 18人には 私費外国人	t一般選抜、)を含む。	特別選抜	(社会人、
	志願者数	(14) 21	()					
	受験者数	(14) 21	()	1. 00				
	合格者数	(13) 18	()					
В	入学者数	(13) 18	()	00				
7	【学定員超過率 B∠A	(–) 1. 00	()					

- (注)・()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 - ・「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - ・「平成20~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成22年度	平成23年度	備考
1 年次	[-] 18	[,]	
2 年次		[].	
計	[-] 18	[]	

- (注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設 において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

対象年度 区 分	退学者数(a)		入学者数(b)		入学者に対す 退学者数の割 (a/b)	する割合
	ā†	[0] 0	(累積)計	[0] 18	[0%] 0%
	うち平成22年度入学者	0人	うち平成22年度	18人		0%
平成22年度	(主な退学理由)		1			
		[]		[]		_
	at-		(累積)計		1	%
	うち平成22年度入学者	人	うち平成22年度	人		%
平成23年度	うち平成23年度入学者	人	うち平成23年度	人		
1 M Z 0 T IX	(主な退学理由)					

(注)・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格 (いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において 教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの 入学者(累積)で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第 1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学
- -海外留学

- ・就職 ・学生個人の心身に関する事情
- ・家庭の事情・除籍
- ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19~21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<デザイン研究科 デザイン専攻(修士課程)>

(1) 授業科目表

		ETAL ASA	1 1	単位数			専任	教員等(の配置		
目区分	授業科目の名称	配当年次	必	選	自	教	准教	詩	助	助	備考
111		1 10 000	修	択	由	授	授	師	教	手手	. 1957 183
	国際関係特論	1・2 前		2							
研	少子高齢社会特論	1・2 前		2		- 1		of the second	4"		
究	健康福祉政策特論	1・2 後		2							
料連	地域経済政策特論	1・2 後	11.121	2			11 111	.: "		11111	
研究科連携科目	ヒューマニティ特論	1・2 後		2							
科	コミュニケーション特論	1・2 前		2	1.11	100	1	11 11 11	di .		
Ħ	連携プロジェクト演習	1 通		2		12	2	4			
			100	111	-		H THE				
	デザイン特論	. 1. 前	2			1	1	:			
基本	デザイン研究法	1 前	_	2		2		1	98.	1 1	
科目	デザインマネジメント特論	1 前		2		1		' '			
	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	' ""				('3')		: .			
	建築計画特論	1・2 前		2	1111111	-		1			
	建築環境学特論	1・2 後		2		- 12		1			
91.1.	建築構造デザイン特論		19.194		2.34					20.20	
	建業構造デザイン特調 日本建築史特論	1・2 前		2			13 141	1.			
1	11 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1	1・2 後		2	figure.	1	1	1	.1		
	景観デザイン特論	1・2 前		2		-1					
11 11	地域環境評価特論	1・2 後		2	11 51	2				11/11/11	
	環境共生デザイン特論	1・2 前		2							
1	環境マネジメント特論	1・2 後		2			100	l" org			
	製品造形特論	1・2 前		2		1					
_	製品評価特論	1・2 後		2		100		. 1		1100	
展開	メカトロニクス特論	1・2 前		2	,			1			
科	インタフェースデザイン特論	1・2 後		2	100	1		11.	ditt.		
	インタラクションデザイン特論	1・2 前		2			1			1 1	
	形状情報処理特論	1・2 煎		2	1.	1		:			
,	造形表現特論	102					100	* 6.5			
	映像デザイン特論	1·2 後 前 1·2 後		2		1		1 11		10.10	
	ビジュアルデザイン特論			1				1			
1		1・2 前		2				1	. 15 19		
	現代芸術特論	1・2 後				1					
		1・2 前		2		111		3 '	* * * * * * * *	15.13	
	地域ブランド構築特論	1・2 後		2							
	デザイン特別演習	1 前·後	2			12	1	4			The Landson Co.
	地域プロジェクト演習	2 前	2			11	1	4		3.	
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前		2		1		1			
実	地域創成デザイン特別セミナーB	1・2 後		2		1		4	4		
践科	√> √>	1 0 1 M						2			
	インターンシップ	1・2 休*		2		11		-0-			
	インターンシップ	1・2 休 [※]			4	1					
研修究了	44 04 07	1~2 通	6		7	12	1	4	0	0	
五」								.1			
	合計(37科目) ターンシップ I 及びインターン	_	12	64	4	13	2	4	0	0	1 114 111 7

[※] インターンシップ | 及びインターンシップ || は夏季休業期間に実施する。

⁽注) ・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。 ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、設置認可時 より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入 してください。

- ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。) ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可
- 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

	認 可 時	の 計 画			変 更	状 況		備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	1/用 亏
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
4	32	1	37	4	32	1	37	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2	該当なし					
3						

- (注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単	位 数	配当年次	一般・	専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1								
2	該当なし							
3						/		

- (注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について 記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし			

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計		0.00%	
認可時の計画の授業科目数の計	_	0. 00%	

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻(修士課程)>

(1) 授業科目表

	科	目		授業科目の名称		配当]	单位数	ţ		.;":	専任	教	員等	の酉	置			備考
	×	分			L	年次		必	修	選択	自	由	教 授	准教授	문	講師	助	教	助	手	備考
				国際関係特論	1	. 2	前	Π	T	2		٦	1	1					Γ		
	6	开		少子高齢社会特論	1	. 2	前	١.		2	4				1		-				
	3	开咒斗車隽斗		健康福祉政策特論	1	2	後			. 2					١						
	i	車		地域経済政策特論	1	2	後	l	1	2							:				
	拉玉	隽		ヒューマニティ特論	1	2	後			2	4 1 2 1 1										
	Ē			コミュニケーション特論	1	2	前			2					1						
				連携プロジェクト演習	1	1	通			2			11	3		5	1				
		j ha	1	看護理論特論		1 1	前	2					1		Ī						
			a el	看護研究法特論	1	١,	前	2					2								tool many a second
				看護倫理学特論	1	1	前	1		2			1.								
:		専		看護管理学特論	1	ing	前	н ,		2			2								
		門基		臨床哲学特論	1	l, 1	後			2			. el	1							
		一礎科目		看護コンサルテーション特論	1	1	後			2			1				7				
1		目		看護専門職教育特論	1	i	前	8 .		2			1						1		
				継続教育特論	1		後			2		١									
				寒冷地生活支援看護学特論	1	1	後		1	2			1				1				
		1111	, 1	家族看護学特論	1	i ng	後			2				1				1	- [
	. 1			地域生活看護学特論	1		前			2			3		T						
			地域	老年看護学特論	1 -	2	後		1	2			1	1			1				
			生	在宅看護学特論	1 .	2	後			2	- 11		1						4		
			活看	地域看護学特論	1 .	2	後			2		-	1		l						
			護	地域生活看護学演習	1	: ا	通			2			3		1		:				
			学領	老年看護学演習	1 1	2	通			2			1			1					1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
le l			域	在宅看護学演習	1 -	2	通			2			1			1					
99				地域看護学演習	1	2	通			2			1			1	:				
女育	41	4		母子看護学特論	1	l	前			2			2								
斗 目					ż	未開記	冓								١						
1				母性看護学特論	+	2	後			2			1								Maight E
			母子	小児看護学特論 I	1 .	2	後			2			. 1			o by					
	専	践看	子看	小児看護学特論	1 -	2	前			2		1	1								
	専門科目	践看護学分	護学	母子看護学演習	1	. :	通		1	2			2	1		1	:				
	目	チ分	領			未開記															
		野	域	母性看護学演習	H		温			2			1			1					
				小児看護学演習	1		通			2			1	1							
	. .			小児看護学実習	1 :		通			4			1	1							
			- 11	小児看護学実習		-	通		_	2		_	1	1	4		L		L		
				成人看護学特論	1		前			2			2								
	: :		成	急性期看護学特論	1 .		後			2			1								at of the same
			人	慢性期看護学特論	1 .	2	後前			2			1								
			看護	急性期病態管理学特論	1 .		後			2											Market de la
			学	成人看護学演習	1	i , ;	通			2	. :		2			1					4"-"-
			領域	急性期看護学演習	1 -	2	通			2			1			1					
				慢性期看護学演習	1 -	2	通			2			1								
				急性期看護学実習	1 -	2	通			6	'		1			1					

7	科目 区分			授業科目の名称	配当			単位数	ţ.				専任教	女員等	σ,	配置	t	T	備考
	区分	<u>}</u>		又来行日の石が	年次	必	修	選択	自	由	教	授	准教授	講館	币 .	功 教	助	手	1/用 考
				精神看護学特論 l	未開講 1 前			2			1							,	
				精神看護学特論Ⅱ	未開講 +・2 後			2			1			ari a					
				精神看護学特論Ⅲ	未開講 +・2 前			2			1								
	美路	_ [神看護学	精神看護学演習丨	未開講 1 通			2			1		1						
	実践看該学分	前腹とく	子領域	精神看護学演習 精神看護学演習	未開講 · 2 通			2			1		1						
ī	聖	予	1	精神看護学実習丨	未開講 +・2 通			4			1		1						
1 早月 不 目	写 引		-	精神看護学実習Ⅱ	未開講 +・2 通			2			1		1						
F	1	1	看護	看護技術学特論	1 前	:: :		2	100		1	v i	: :					: :	
		-	技術学領域	看護技術学特論 看護技術学演習 看護技術学演習	1・2 後			2 2			1								
	7			有護 (X M 子) (関 日) (1・2 通	11	_	2	_	-	2	- 1	1		+	_			
	看談マネシ	使った	護教	看護教育学特論	1・2 後			2			1						ľ		
	シメン	3	育・管	看護マネジメント学特論 看護教育・看護マネジメント学演習	1·2 後 1 通			2			1 2	; ;							
	メント学分野	1 2 4	管理学領域	看護教育学演習	1・2 通			2			1			0+					
	95	7	域	看護マネジメント学演習	1・2 通	1		2			1	11		1	1				
		研究	,	特別研究 課題研究	1~2 通 1~2 通			8			1		2	4 5					
-			1	合計 (61科目)	_	4		134	0		1	7	3	4 5	T	0		0	

- (注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・設置認可時の授業科目全て(兼任,兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき,設置認可時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき,「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後、審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度認可 以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で 見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

	認	,可	時	の	計	画			変	更	状	況			/#	-tx
必	修	選	択	自	由	計	必	修	選	択	自	由		B+	備	有
	科目		科目		科目	科目	1	科目		科目	1.1	科目		科目		
	2	5	9	()	61		2	an T	59		0	(61		
	1			,			[0]]	0]	[0]	[0]		

(注)・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単	位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1							
2	該当なし				,		
3							

(注)・設置認可時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単	位	数配当年次	一般	専門	必修	・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1					,				,
2	該当なし								
3									

- (注)・設置認可時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について 記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

ī	該当なし
(注)	・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周 知方法」を記入してください。
(6)	「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合
	未開講科目と廃止科目の計

0. 00%

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

認可時の計画の授業科目数の計

3 施設・設備の整備状況, 経費

(芸術の森キャンパス)

	X		分				内						1	字			備考
(1)		X	分		專	用		共	用		#	ŧ用する ዸ校等の	他の 専用	T		#t	
***		校(舎敷均	t	147	, 009. 61	mi		0	mi				mi	147	, 009. 61 m	
校		運動	力場用地	3	15	, 462. 00	m		0	m			0	m	15	, 462. 00 m	
地		小	81		162	, 471. 61	m'	on the	0	m			0	m	162	471. 61 m	
等		そ	の他	3	5	, 145. 00	m		0	mi			0	mi	5	145. 00 m	
		合	81	- 1	167	, 616. 61	m		0	m			0	m	167	616. 61 m	
					專	用		共	用		夫 学	ŧ用する ዸ校等の	他の 専用		111	8†	
(2) 校			舎		23	, 086. 71	m		0	m		0 m		m	23	, 086. 71 m	
					(23, 08	6. 71 m²)		(0 m²;		() m')	(23, 08	6.71 m²)	
				請	義 室	演	習 :	室	実場	食実習室		情報处	理学習	施設	語学	学習施設	
(3) 教		室	等		22 —21 室		19 20	室		16 -15	室	(補助	職員 -	5 室 人)	(補助)	0 室職員 - 人)	用途の見直しによるもの (22)
(4) =	/工业	2. 数量研究	-			新設等	学部等の	名称	f*				室		数		
4) +	IT %	хөмэ	, se	in h	7	ザイン研究	発科 テ	ザイン	専攻							39 室	
(5)		新設学 の名			国 書 ち外国書)		学術雑誌	1	電子:	ジャーナ	ル	視聴賞	資料	機械・岩	具	標本	
		07-01	ls)v			m		種	(うち	ら外国書)		点		点	点	
4.		the Tr		70, 25	7 (8, 890)		790 (43	39)	:: 3	80 (380)	3, 0	95	6, 200		1, 725	
图書	*		研究科	1.1.1	14 (8, 359) 77 (8, 279)		732 (43			34 (384 1 80 (380		(2, 8		(5, 900))	(1, 725)	図書は経常的整備による 増加。学術雑誌は、カウ ント方法の変更によるも の(22)
設備				70, 25	7 (8, 890)		790 [43	39)	: : 3	880 (380)	3, 0	-	6, 200		1, 725	05 (22)
		8†			14 (8, 359) 77 (8, 270)		732 (43			34 (384 380 (380		(2, 8		(5, 900		(1, 725)	
1					面	積				座席			収	納可		冊 数	
(6) 図		8	ÊÊ	in h		1, 5	40 m		11		1	28 席	-			80, 000 m	
- 4			- Orth		面	積				体育	館以久	外のスポ	ーツ施	設の概要			
(7) 体		育	館			1, 7	90 m		テニスコ	コート(2	面)			トレー	ニンク	ブ室	
8)			Ø	分	開設4	年度 非実験系	実験系	完成年度	実験系	Z	分	開設前	年度	開設年	度	完成年度	
経費の)見)7.15			教授	1, 500千円	600千円	1, 500千	円 6	00千円	図書購刀	費	30, 87	77千円	30, 877	千円	30,877千円	
発力 維持方 の概	法要	経費	教員	准教授	1, 050千円	450千円	1, 050千	円 4	50千円	設備購力	費	33, 00	00千円	33, 000	千円	33, 000千円	A 78
		の見 積り	1人当り	講師	820千円	380千円	820千	円 3	80千円								
	'-		研究 費等	助教	513千円	293千円	513千	円 2	93千円				_				
				助手	450千円	230千円	450千	円 2	30千円				_		_		
			共同研	究費等	1	7,000千円		17. 0	00千円						_		
		学生 1 納尓		第	1 年次	第2年	次	第	3年次	舅	4年	次	第5	年次	1	第6年次	
					818千円		36千円		- 千					一千円			I .

- (注):
- 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するととも に、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

(桑園キャンパス)

	区			分				内						容			備考
(1)		×		分		専	用		共	用		共	用する他の	I		ä†	
		校	舎 敷	女 地	b.	13,	937. 14	mi		0	mi	7	0	mi	13,	937. 14 mi	
校		運動	カ場月	用地		2,	640. 00	mi		0	m	7	0	mi .	2,	640. 00 m	
地		小		計		, 16,	577. 14	m		0	m		0	m	16,	577. 14 mi	
等		そ	の	他		1, :	575. 00	m		0	mi		0	mi	1,	575. 00 m²	
		合	111	計	# 1	18,	152. 14	mi		0	mi		0	m	18,	152.14 m	
					1	専	用		共	用			用する他の 校等の専用			81	
2) 校	ξ		舎			11,	855. 11	m	110		0 m²		0	m	11,	855. 11 m²	
						(11, 85	5. 11 m²)		(0 1	ท์)	(0 r	ก๋)	(11, 8	55. 11 m²)	
					詩	義室	演	習 :	室	実用	(東習室		情報処理学		語学	学習施設	用途の見直し、教室の紀
3) 教	Z	室	等			8 3	室	14 13		,	<u>6</u> 8 3	室	(補助職員	1 室 - 人)	(補助)	0 室職員 - 人)	合等の改装によるもの(22)
4) 恵	任参	女員研9	空空				新設学	部等の	O名称				室		数		
., ,	1	~~~	-	_	11:11	and the American State of the S	看護学研究			攻				1000		42 室	
(5)	Ä	新設学 の名			(う	ち外国書〕	(う:	術雑誌	書)		ジャーナ		視聴覚資料		·器具	標本	
	1		- 1		(30, 4	27 (1, 323))	 (19	96 C 12	201)		5外国書 5 (115		933		点 400	- 点	
図書・	看	護学研	开究和	4	(28, 40	60 (1, 299)) 21 (1, 237))	(1, 71	9 (6	53))	(1, 42	2 (646 5 (115))	(911) - (813) -		300)	(600)	図書は経常的整備による 増加。学術雑誌は、カワント方法の変更による の (22)
設備		***			(30, 4	27 (1, 323))	(19	96 C 12	20))	(11	5 (115	i))	933	6,	200	600	
		ā†				60 (1, 299)) 21 (1, 237))		9 (65 06 (17			2 (646 5 (115		(911) (813)	(5,	900)	(600)	
6) 🗵	1	=	館	1.	1111	面	積	1		閲 覧	座席	数	ф	て 納	可能	冊数	
							46	2 m²					95 席			30, 000 m	
7) 体	ž.	育	館			面	積	11 11			体育	館以夕	トのスポーツ	施設の机	现要		
		11. 1	_				87	1 m		111	_						
8)			Σ	<u> </u>	分	開設年 実験系 事	F度 非実験系	実験系	完成年月 系 非:	実験系	K	分	開設前年度	開設	年度	完成年度	
登費の 責り及	O見 375			П	教授	1,500千円	600千円1	,500千	円 6	00千円	図書購	入費	30. 877 ∓ P	30, 8	77千円	30,877千円	
住持方の 概	法要	経費	教		准教授	1, 050千円	450千円1	, 050千	円 4	50千円	設備購	入費	33, 000 ∓ P	33, 0	00千円	33,000千円	
		の見 積り	当研	人り究	講師	820千円	380千円	820 T	円 3	80千円					.,		
			費	等	助教	513千円	293千円	513 ∓	円 2	93千円							
	- 1				助手	450千円	230千円	450千	円 2	30千円					_		
					oto ida oto	17	000千円		17, 0	00千円							Part of the same
			共同]研:	究費等	17.				111						_	
		学生	_			1 年次	第2年	次	第	3年次	9	育4年	次	55年次		第6年次	

- (注)・ 設置認可時の計画を認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

 - 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。 複数のキャンパスに分かれている場合は、キャンパス毎に作成してください。 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するととも に、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、《別紙様式2》により、 「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	札	幌	市	立	大	学									備	考
既設学部等の名称	修業 年限	入定	学員	編え定	学員	収定	容員	学位又 は称号	定 員超過率	開年	設度	所	在	地		
	年		人	ŕ	羊次		人		倍						1	
札幌市立大学	A				人											
デザイン学部	4		80	3年	次		360	学士	1. 04	平成1	8年度	札幌市	南区	₹		
デザイン学科				2	0			(デザイン学)				芸術の)森 1	丁目		
看護学部 看護学科	4		80		·次 0		340	学士 (看護学)	1. 03	平成1	8年度	札幌市 北11為				
							*									

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 - (専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
 - ・認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 - ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置して いる場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学にお いて専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履行状況	未履行事項について の実施計画
認 可 時	【デザイン研究科デザイン専攻】 1. 設置の趣旨・目的等が活でをいるようでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	・申請書に記載した設置の趣 旨・目的等が実現できるよう 設置計画の履行に努めている。設置の趣旨・目的等にこの 認置の趣旨・目的等にこの は、受難料目担当教員に 設置認可申請書を配付し、認識の 記載内容を周知し、認識の 共有化を図っていては、専任教	
		員は全員が表示を表示の任任1に講目を会議を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を	
	(その他の意見)		
	飛び級試験については適切ながについては適切ながについてはうさはいまた、人のでは、 望まして、筆記による英語になるがにではながにのではないではないではないでではないでででででいます。 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	・抜い「でのたす試なは願審ま時格ののに要かい、大あ単とる験い、資査でを対して、大切のではないである。 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	
		3. (22)	

区 分	留 意 事 項	履行状況	未履行事項について の実施計画
		・英語試験については、平成 23年度学生募集要項から試 験科目名を「英語(筆記試 験)」と記載することとし た。(22)	
	【看護学研究科看護学専攻】		
	1. かさに では	・旨設るい設の共教員が数たま辞が開科たラ目可しとがづ水と明明では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	
	2. カリキュラム及び学生募集については、設置の趣ること。 また、看護格につる者を予した者での教育を有するとの、不可能を有するとの。 また、大学の大学を有いる者を対している。 ない アンドル はい アンドル はい アンドル はい アンドル できる	・に専者ので置する。 ・に専門ので置する。 ・に専門ので置する。 ・に専門ので置する。 ・は、及目のでででは、大神のででででできる。 ・大神のででででは、大神のでででできる。 ・大神のでででは、大神のででできる。 ・大神のでででは、大神のででできる。 ・大神のででできる。 ・大神のででは、大神のででは、大神のででできる。 ・大神のででは、大神のででは、できる。 ・大神のででは、大神のででは、大神のででは、大神のででは、大神のでできる。 ・大神のででは、大神のは、大神のでは、大神のいは、大神のいは、大神のいは、大神のいは、大神のいは、大神のいは、大神のいは、大神のいは、大神のは、大神のいは、大神のは、大神のは、大神のは、大神のは、大神のは、大神のは、大神のは、大神の	

区	分	留 意 事 項	履行状況	未履行事項について の実施計画
			・本研究科では実践看護学分野と看護マネジメント学分野 の2分野を設けているが、両	
			分野とも「看護系大学卒業者 あるいは看護師の免許を有す る者を原則とする」との出願 資格を定め、学生募集要項に 明記している。(22)	
		(その他の意見)	7100 (110)	
		分野、領域及びコースごと に取得可能となる資格等を示 すことで足りるため、設置の	・該当部分の記載を削除した 上で情報公開用電子データを 作成し、文部科学省ホーム	
		主旨等を記載した書類 (P10) に 追加された表の要件及び注記 (※) については、記載不要で あり、削除することが望まし い。	ページの「大学等の設置認可申請書類等の公表ページ」に 掲載頂いている。(22)	
設置計画原	覆行状況			
調 查				

- (注)・「認可時」には、当該大学等の設置認可時に付された留意事項(<u>学校法人の寄附行為又は</u> <u>寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>) と、それに対する履行状況等について、 <u>毎年度、具体的に記入し、報告年度を(</u>)書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項 に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付け る資料を添付してください。
 - ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、<u>指摘を受けた学科等についてのみ記</u> 入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<デザイン研究科デザイン専攻、看護学研究科看護学専攻共通>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況,今後の見通しなど
付属施設の概要 サテライトキャンパスの位置の変更	移転のため以下のとおり変更 (22) 旧:札幌市中央区北3条西4丁目 日本生命ビル5階
	(専有面積: 193㎡) 新:札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階 (専有面積: 178㎡)

- 1~6の項目により記入した事項以外で、設置認可時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。 (記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学開設時(平成18年度)においては、総務委員会においてFDに関する事項を審議し、各種研修会等を企画・開催し てきたが、翌平成19年度からはその重要性に鑑み、FD委員会を独立の組織とした。 なお、平成22年度の当該委員会活動は、学部および大学院の両組織の連携により横断的に活動実施することとしてい

(資料1:FD委員会規程参照)

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

年度	開催回数		委 員	数	
		デザイン学部	看護学部	事務局	合 計
平成18年度	12	3	3	1	7
平成19年度	13	3	4	2	9
平成20年度	11	5	4	2	11
平成21年度	11	4	3	2	9

※平成22年度は4月28日に第1回委員会を開催しており、以降毎月開催することを予定している。

c 委員会の審議事項等

- ・全学FD研修会の企画・開催
- ・研究科FD研修会の承認
- ・学部FD研修会の承認
- 教員相互の授業参観の実施
- ・授業評価アンケートの分析・活用方法の検討
- FD研修会に関するアンケートの実施
- ・年度計画の執行・策定
- ・その他

② 実施状況

現在までの学部でのFD活動を基礎として大学院の教員組織においても、授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図 るための組織的な研修及び研究を実施し、魅力ある大学院教育の構築を目指す。

また、大学院度独自の活動として、「研究科FD研修会」を実施する。さらに、学部と同様に「授業評価アンケート」を実施し、教育力の向上を図ることとする。

平成21年度までの学部での実施状況は以下のとおりである。

- a 実施内容
 - · F D 研修会 (全学・学部)
 - ・外部研修への参加
 - ・授業評価アンケート
 - 教員相互の授業参観
 - ・新任教員のための研修会
- b 実施方法
 - ・学内においてFD研修会を実施
 - ・外部研修に教員を派遣
 - ・授業評価アンケートを実施
 - ・教員相互の授業参観を実施
 - ・新任教員を対象に研修会を実施
- c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - · F D研修会の実施状況は別紙「資料2」のとおり
 - ・授業評価アンケートはセメスターごとに実施
 - ・教員相互の授業参観は、デザイン学部でコースごとに2回、計8回実施。看護学部は4科目で実施 (平成21年度実績)
- d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・各教員にフィードバックした授業評価アンケートの結果について所見の提出を求めるとともに学内で公開し、 シラバスに反映させている。
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

- ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 別紙のとおり
- ② 自己点検・評価報告書
 - a 公表(予定)時期
 - ・未定
 - b 公表方法
 - ・未定
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成23年度に評価機関(財団法人 大学基準協会)の評価を受けるべく学内で検討中。
- (注)・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

0 1	設置計画履行状況報告書
a	ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
b	公表時期(未公表の場合は予定時期) (平成22年 6月 下旬)
С	文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク (承 諾 す る ・ 承諾しない)
d	上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
	(http://www.scu.ac.jp/johokoukai/)

- (注)・「c」において「承諾する」場合,文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので,大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。 なお,「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は,決まり次第,文部科学省高等教育局大学設置室あてに,メールにてご報告ください。
 - <u>※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp</u> 件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(○○大学)」としてください。

公立大学法人札幌市立大学FD委員会規程

平成19年3月27日 平成19年規程第3号 改正 平成22年規程第13号

(趣旨)

第1条 この規程は、札幌市立大学学則第16条第2項の規定に基づき、公立 大学法人札幌市立大学(以下「法人」という。)に設置する公立大学法人札幌 市立大学FD委員会(以下「委員会」という。)の組織及び運営に関し必要な 事項を定めるものとする。

(設置)

- 第2条 法人に、FDに関する重要事項を審議するため、委員会を置く。 (審議事項)
- 第3条 委員会は、FDに関する事項その他理事長が付託した事項を審議する。 (組織)
- 第4条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。
 - (1) デザイン学部長又はデザイン学部長がデザイン研究科長と協議の上指名 する者
 - (2) 看護学部長又は看護学部長が看護学研究科長と協議の上指名する者
 - (3) 事務局長又は事務局長が指名する者
 - (4) その他理事長が指名する者
- 2 委員は、理事長が任命する。

(任期)

第5条 前条第1項第1号のデザイン学部長がデザイン研究科長と協議の上指名する者、同項第2号の看護学部長が看護学研究科長と協議の上指名する者及び同項第3号の事務局長が指名する者並びに同項第4号の委員に係る任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合における後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第6条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長に事故があるときは、委員のうちから委員長があらかじめ指名する ものがその職務を代行する。
- 3 委員長は、委員会を招集し、会議を主宰する。

(定足数)

第7条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

(議事)

第8条 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長が決定する。

(委員以外の者の出席)

第9条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を委員会に出席 させ、説明又は意見を求めることができる。ただし、当該委員以外の者は、 議決に加わる権利を有しない。

(専門部会)

- 第10条 委員会に、必要に応じて専門部会を置くことができる。
- 2 専門部会は、第3条に規定する審議事項に関し専門的な調査及び審議を行 う。
- 3 専門部会の委員は、委員長が任命する。
- 4 委員長は、必要があると認めるときは、第4条第1項各号に掲げる委員以 外の者を専門部会の委員として任命することができる。
- 5 委員は、複数の専門部会の委員を兼ねることができる。
- 6 専門部会に部会長を置き、委員長の指名する者をもって充てる。
- 7 部会長は、専門部会において調査及び審議した事項を委員会に報告するものとする。
- 8 前各項に定めるもののほか、専門部会の組織及び運営に関し必要な事項は、 委員会が定める。

(議事録の作成)

第11条 委員長は、議事録を作成しなければならない。

(庶務)

第12条 委員会の庶務は、事務局において処理する。

(委任)

第13条 この規程に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な 事項は、委員会が定める。

附則

(施行期日)

- 1 この規程は、平成19年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。 (委員の任期に関する特例)
- 2 施行日以後、平成22年3月31日までの間、委員に係る任期は、第5条 本文の規定にかかわらず、2年の範囲内で理事長が別に定める。

(委員長の選任に関する特例)

3 施行日以後、平成22年3月31日までの間、委員長については、第6条 第1項の規定にかかわらず、委員のうちから理事長の指名する者をもって充 てることができるものとする。

附 則(平成22年改正規程13号)

(施行期日)

- 1 この規程は、平成22年4月1日(以下「施行日」という。)から施行する。 (委員の任期に関する特例)
- 2 第4条第2項の規定により施行日以後、平成24年3月31日までの間、 委員に係る任期は、第5条本文の規定にかかわらず、2年の範囲内で理事長 が別に定める。

(委員長の選任に関する特例)

3 施行日以後、平成24年3月31日までの間、委員会に係る委員長については、第6条第1項の規定にかかわらず、委員のうちから理事長の指名する者をもって充てることができる。

1. 学外FD研修会

(1)参加

開催日	研修会名 (主催者)	場所	参加者(数)
6月6日 (土) ~7日 (日)	大学教育学会	首都大学東京	教員(FD委員)1名
6月23日 (火)	国立教育政策研究所FDセミナー	文部科学省	教員(FD委員)1名
7月30日 (木) ~31日 (金)	筑波大学・北海道大学共催国際シンポジウム	北海道大学	教員(FD委員)4名
9月11日(金)	教育著作権セミナー (メディア教育開発センター)	北海道大学	デザイン学部教員4名、看護学部 教員4名、事務職員1名
8月20日 (木) ~21日 (金)	IDE大学セミナー	ホテル札幌ガー デンパレス	教員(FD委員)1名、事務職員1 名
11月14日 (土) ~15日 (日)	情報教育研究集会	東北大学	教員1名
11月28日 (土) ~29日 (日)	大学教育学会課題研究集会	大阪御堂会館他	教員2名(うちFD委員1名)
11月23日 (祝)	日本学術会議公開シンポジウム	東京大学	教員(FD委員)1名
2月4日 (木)	ICT活用教育セミナー	北海道大学	教員2名(うちFD委員1名)

(2) 発表

発表日	研修会名 (主催者)	場所	発表者
9月3日 (木) ~4日 (金)	東北・北海道地区大学一般教育研究会「専門科目連携 を目指す看護学部FD研修会の取組」	岩手大学	大野夏代 保田玲子 松浦和代

2. 全学FD研修会の開催

開催日	研修会名 (講師)	場所	参加者 (数)
6月5日(金)18:15-19:45	組織的な教育改善活動を活発化するために 一山口大学の場合—		デザイン教員19名、看護教員21 名、事務職員7名、合計47名
9月8日 (火) 13:00~15:00			デザイン教員11名、看護教員34 名、事務職員5名、合計50名
10月22日 (木) 18:00~19:30	学生支援・修学支援を考える 〜大学教員にとっての課題とは		デザイン教員12名・看護教員15 名、職員15名、計42名
3月24日 (水)	教育評価のアウトカム的分析について		デザイン教員16名・看護教員23 名、職員8名、計47名

3. 学部FD研修会の開催

(1) デザイン学部

開催日	研修会名 (講師)	場所	参加者 (数)
4月1日 (水) 10:00-11:00	デザイン学部教員としての心構え(吉田デザイン学部 長)	理事会室	新任教員3名
11月12日 (水) 16:30~18:00	デザイン学部コースごとのプレゼンテーション ~コース間連携の可能性と具体的提案~	C-102教室	教員24名、事務職員 2 名、計26 名

(2) 看護学部

開催日	研修会名 (講師)	場所	参加者 (数)
4月15日 (水) 13:00~15:30	卒業研究を支援する (3) -平成20年度研究方法論の 概要と模擬指導ワークショップ	講義室4他	教員36名
5月20日 (水) 10:00-11:50	教育GP各実施部門の運営実施と評価報告	講義室4	教員25名、事務職員3名
9月16日 (木) 11:00~11:40	母性看護学領域における授業と実習展開の概要	講義室1	教員33名
9月17日 (木) 10:00~15:00	看護技術としての指圧マッサージ研修会	4階実習室	教員21名
9月29日 (火) 16:00~17:30	高校教育の現状と課題について (看護学部FD,全学SD研修会)	桑園:講義室1 芸森:大会議室 (桑園で講演 し、遠隔で芸森 へ配信)	看護学部教員27名、デザイン学 部3名、事務局職員12名、合計42 名
10月27日 (火) 15:00-16:00	平成20年度OSCEの評価から次年度に向けて	講義室3	教員28名
12月10日 (木) 17:00-18:30	OSCE評価と有効な教育的フィードバック	講義室4	教員23名
2月3日 (水) 17:30~18:30	看護管理領域における授業とヘルスケアマネジメント 実習展開の概要	講義室4	教員26名
2月10日 (水) 16:00~17:00	教育GP模擬患者に対する教員の教育的役割について	講義室4	教員29名

4. 教員相互の授業参観の実施

(1) デザイン学部

開催日	授業名(担当者)	場所	参加者(数)
7月10日(金)13:10~14:40	総合実習Ⅱ (空間・羽深教授)	A棟プラザ	8名
7月31日 (金) 13:00~18:00	デザイン総合実習 II (製品・張准教授、柿山講師、 三谷講師)	製品・アトリエ	5名
7月28日 (火) 13:10~16:20	デザイン総合実習 II (コンテンツ・城間教授)	コンテンツ・ア トリエ	6名
7月17日 (金) 14:50~18:00	デザイン総合実習 II(メディア・上遠野教授、吉田和夫教授、武邑教授、フィッシャー准教授、エルサニ准教授)	階段教室	8名
1月29日 (火) 14:50~18:00	デザイン総合実習Ⅲ(中原教授)	B棟写真スタジオ	8名
1月29日 (火) 14:50~18:00	デザイン総合実習Ⅲ(望月教授,福田講師)	コンテンツデザ イン・アトリエ	5名
1月29日 (火) 14:50~18:00	デザイン総合実習 Ⅲ (石崎教授、張准教授)	ゼミ室1	8名
2月1日(月) 16:30~18:00	デザイン総合実習I(フィッシャー准教授、エルサニ 准教授)	C-104	5名

(2) 看護学部

期間	授業名(担当者)	場所	参加者(数)
前期開講科目	看護学原論 (河野教授)	講義室	7名
前期開講科目	管理看護学 (河野教授)	講義室	10名
後期授業科目	チーム医療論 (河野教授)	講義室	9名
後期授業科目	援助的人間関係論(大野准教授)	講義室	2名

5. 授業評価アンケート所見

・平成20年度後期分および平成21年度前期分を学内HP及び両キャンパス図書館にて公開

6. シラバス記載方法等の指導・助言

(1) デザイン学部

1月13日 (水) 16:00~17:00	城間教授	城間研究室	1名(助教1名)
(2) 看護学部			
1月8日 (金) 10:00~11:30	松浦教授・大野准教授・保田講師	講義室4	4名(新任講師1名・助教3名)

7. 北海道地区FD・SD推進協議会

- (1)準備委員会5月22日及び6月24日、設立総会10月8日、幹事会12月7日にそれぞれ参加
- (2) 推進協議会での情報交換の開始

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

札幌市立大学大学院は、札幌市立大学デザイン学部および看護学部の第一期生の卒業時期に合わせて、平成22年4月に開設したものである。本大学院の研究科は、学部教育を基礎としており、デザイン研究科デザイン専攻および看護学研究科看護学専攻の2研究科2専攻を擁している。

本学の教育・研究の理念は、「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会へ積極的な貢献」の2点である。前者については、本学が設置する両学部・研究科の学問分野がともにヒトの生活に深く関与する分野であること、後者については、本学が公立大学であることから、地域に開かれた大学として市民からの付託に応え、知的財産の還元を通じて積極的に地域に貢献する使命を有するとの基本的な考え方によるものである。今回の大学院修士課程の設置は、学部での教育・研究活動を基礎にさらに深い学識を教授・涵養し、高度専門職業人及び研究者・教育者を育成することを目的としている。

大学院は、平成22年4月に開設したところであり、これから授業や研究指導が本格化する時期にある。大学院の開設にあたり、授業科目担当教員に対しては、平成21年10月の設置認可後、速やかに会合を開き、申請書の内容を周知するため、設置の趣旨・必要性等を記載した書類を配付して説明を行い、大学院の目的について認識を共有するよう努めた。

大学院の運営方法については、設置認可前の早い時期から学内で検討を進めており、学長、副学長、研究科長予定者等で構成する学内委員会を設置し、両研究科に共通する事項を中心に協議、検討を行ってきた。また、両研究科の授業科目担当者で構成する「研究科開設準備会議」をそれぞれの研究科に設置し、さらに、その下部組織として各研究科に特化した課題や運営に係る事項を具体的に検討する4つの部会(教学・入試・施設・広報)を設置し、専門分野に関する教学関係、施設関係、学内規程の見直し、学生募集要領の決定と入学試験問題の作成・実施等、研究科ごとに検討すべき事項を洗い出し、十分な準備のもと第一期入学生の受け入れを行った。

自己点検・評価の実施については、学部での教育・教育活動の状況や目標の達成状況を 把握するため、学部開学3年目にあたる平成20年度において、開学初年度と翌年度の2年 間を対象とした中間評価を実施し、自己点検・評価報告書を作成した。今春、第一期卒業 生を社会に送り出し、学士教育課程が完成したことを受けて、平成22年度には学部の教育 研究活動4年間を対象とした自己点検・評価を実施する予定である。さらに、翌平成23年 度には認証評価機関(財団法人大学基準協会)による外部評価を受けることを予定してい る。

大学院についても、完成年度を待って自己点検・評価を行う予定であり、近年、大学教育のあり方として重要視されている「質の保証」の重要性を学内教職員が再認識し、当該活動の実質化を図るべく積極的に取り組むこととする。